

学校再編（松林小学校と武蔵野小学校、羽村第二中学校と羽村第三中学校の統合）
に関する保護者対象説明会 議事録

令和 8 年 7 月 12 日（日）
午前 10 時～11 時 05 分
武蔵野小学校 体育館

〔出席者〕 生涯学習部長、生涯学習部参事、
生涯学習総務課長、学校教育課長、教育支援課長、統括指導主事

〔参加者〕 25 名

〔議事内容〕 下記のとおり。参加者の発言内容、発言に対する市の回答等は要約して
記載。

【開会】

〔生涯学習部長〕

本日は、「松林小学校と武蔵野小学校、羽村第二中学校と羽村第三中学校の統合に
関する保護者説明会」にお越しくださいましてありがとうございます。

この時間をお借りしまして、市がこれから進めようとしている公共施設の再配置
について、学校の再編を含む、これまでの経過等を簡単に御説明します。

市では、昨年 9 月に「公共施設再配置構想（たたき台）」を公表しました。これ
は、今後、公共施設の総量を 30%程度抑制して、持続可能でより良い施設サービス
を維持していくためです。

学校教育施設についても公共施設の一つでありますので、この「再配置構想（た
たき台）」の中で、具体的な方向性を示していますが、学校教育施設再編の目的は、
公共施設の総量を抑制することではなく、あくまでも「子供たちのより良い教育環
境を整備し、学校教育の質をより一層向上させるため」です。

教育委員会では、この「再配置構想（たたき台）」に先立ち、令和 6 年 2 月に、
「これからの羽村市立学校の在り方について」を公表し、学校再編についての教育
委員会の考え方をお示ししています。

話を「再配置構想（たたき台）」に戻しますが、昨年 9 月に公表した後、「再配置
構想（たたき台）」の内容について説明し、御意見等を伺うため、市民の皆様を対象
し、市主催の懇談会を 6 回、教育委員会が主催し、学校教育施設に内容を絞った懇
談会を 2 回開催しています。

その後、今年 3 月には、寄せられた御意見等を踏まえ内容の一部を修正した「公
共施設再配置構想たたき台 Ver.2」を公表し、市主催の懇談会を 3 回、オープンハ
ウス型の説明会を 2 回開催しました。

こうした経過を踏まえ、市では、7月1日付けて「公共施設再配置構想（案）」を公表し、現在、今月末までの1か月間をかけて市民公募手続き（パブリックコメント）を実施しています。

教育委員会では、学校再編、特に、具体的な計画を示している4校の統合について保護者の皆様へより分かりやすくお伝えするため、本日も資料としてお配りしていますが、「これからはむらの学校」というリーフレットを作成し、先般、対象となる小・中学校及び幼稚園・保育園等の保護者の皆様に個別に配付いたしました。

本日の説明会は、保護者の皆様により御理解をいただけるよう、保護者の皆様に対象に開催させていただくものであります。

本日は、限られた時間ではありますが、時間の許す限りできるだけ多くの御質問等をお受けして、御参加の皆様の疑問や懸念が少しでも解消いただけるようにしたいと考えています。

【資料の説明】

〔生涯学習総務課長〕

リーフレット「これからはむらの学校」に基づき説明

【質疑応答】

〔参加者A〕

令和8年7月末まで、パブリックコメントを実施しているが、本日ここに出された意見等は、どのタイミングで取り込まれるのか、こういったところで参考にされるのか教えていただきたい。

〔生涯学習総務課長〕

パブリックコメントは、市全体の計画（再配置構想（案））に向けてになりますので、7月末までにお受けしたものを検討させていただき、9月に公表する再配置構想に取り込んでいくこととなります。

〔参加者A〕

7月末にパブリックコメントの受付を終了して、9月の策定は難しい思っている。

〔生涯学習部長〕

本日いただいた学校統合について意見等は、今年度中に策定していく個別再配置計画（実行計画編）の参考とさせていただきます。

〔参加者B〕

リーフレット「これからはむらの学校」のQ&Aに、「4校はいつ統合されるの？」との質問に対する回答に、「令和12年4月1日の統合」と記載がある。

前後するという事はないのか。

〔生涯学習部長〕

基本的には、令和12年4月1日の統合を目指しています。

個別再配置計画（実行計画編）を策定していく中で、様々な意見を伺ってまいります。

現時点で、令和12年4月の統合が確定しているものではありませんが、そこを目指していく考えは持っています。

〔参加者B〕

例えば、現在小学5年生で、令和12年4月に統合すると、中学3年の時に転校となる。都立の受験において学校の成績がとても重要となる。リーフレットにも「統合までの3年間で交流活動の実施や指導方針の検討など」との記載があるが、具体的に決まっているのか。

〔統括指導主事〕

中学3年で学校が変わることは、非常に心配であることは理解できます。

学習指導要領は全国統一ですので、学校が変わったことにより、成績評価の基準が変わってしまうとか、何か大きな影響があるとか基本的にはないと捉えています。

交流活動はチャンスとして捉えることもできます。「活躍する場が増える」、「多くの目で見守ることができる」、「新たな仲間との交流・出会いがある」など、活動が充実していくものと考えています。

〔参加者B〕

中学に入学する時に統合が決まっているのであれば、羽村三中ではなく、羽村二中を希望する選択肢は与えていただけるのか。

〔学校教育課長〕

統合が決定している場合に、中学入学時に学校を選択することができるかについては、懸念事項、検討事項として考えています。

〔参加者C〕

聴取した意見の中での、反対意見にどう対応していくのか。

統合時期は前後することも有り得るとの説明であったが、4校の統合は推し進めてい

くのか。

〔生涯学習部長〕

4校の統合については、児童・生徒数の推計から、進めていく必要があるものと考えており、御理解いただけるよう説明を尽くしていきます。

〔参加者D〕

1点目、統合の方法、例えば1学年ずつとか。一遍に統合していくとか、どのように進めていくといった案を早めに示して欲しい。案がないと判断ができない。

2点目、1クラス35人は多過ぎるのではないか。

〔生涯学習部長〕

1点目の統合の方法についてですが、令和8年度中に策定する、再配置構想（実行計画編）の中で具体的に案を示していきます。御意見等をいただきながら決定していきたいと考えています。

〔統括指導主事〕

2点目、1クラス35人は多過ぎるのではないかについては、1クラス35人は、全国一律の国の示した基準に則ったもので、羽村市独自で設定しているものではありません。

学校規模が適正に保たれることによって、少人数教育も充実していくと考えます。

小規模校と少人数学級は別のものです。

複数の学級があることは、例えば、算数、数学、英語に習熟度別指導の教員、専科の音楽や体育の教員を配置できるといったメリットがあります。

〔参加者E〕

リーフレットの児童数等の推計を見ると、令和12年度の統合を目指していくことは、時期尚早ではないか。

児童数が少ないと専科教員を置けないのか。

〔統括指導主事〕

児童・生徒数によってクラス数が決まる仕組みであり、クラス数が少ないと、学校に配属される教員が少なくなる制度となっています。

学級担任1人は確保される。現行では、1クラスの人数は35人なので、20人でも35人でも1クラスとなります。

例えば、36人であれば、2クラス編成となり、1クラス18人の学級となります。

クラス数が1つしかない場合、学校行事など、適正な規模での活動が難しくなると考えています。

〔参加者 E〕

多様性については、2学級以上なくても、高め合うことができると思う。

羽村三中を羽村二中に統合するのであれば、小学校は武蔵野小学校を松林小学校に統合してはどうか。水泳指導をスイミングセンターでできるメリットなどもある。

〔統括指導主事〕

武蔵野小学校と羽村三中は、小中一貫校教育を進めている上で、隣接型のモデルであった。

いただいた様々な意見等も勘案しながら、より良い教育環境、豊かな学校生活が送れるよう準備していきたいと考えています。

〔参加者 F〕

羽村一中と羽村二中は詰襟の制服、羽村三中のみブレザーである。

統合した際に、制服の買換えがあるのか、入学時に選ぶことができるのか。

〔学校教育課長〕

先週の説明会でも、制服の話があり、課題として捉えています。

子供たちに影響がないよう検討してまいります。

〔参加者 A〕

教育委員会の方針として、学校統合は実施していくものと考えていて、反対の意見では、学校統合に反対ではなくて、不安がどのように解消されるのか、そういった不安を実行計画策定の中で、1つ1つ解消していくことになると思う。

市内のPTAは、機能していないことも考えられる。

実行計画を策定していくに当たり、PTAの代表などによる、委員会のようなものを設置していくのか。

設置する場合、基準があるのか。市民公募委員の公募があるか。

〔生涯学習部長〕

再配置構想（実行計画編）を策定する上で、どのような場合に委員会を設置するのかといった基準はありませんが、再配置構想（実行計画編）を今年度中に策定するに当たり、学校関係者、保護者の皆さん、コミュニティー・スクールの代表などによる、協議体の設置を考えています。

〔参加者 A〕

コミュニティー・スクールの話があった。

コミュニティー・スクールの委員は、正確には教育委員会から任命されているが、実際は学校からの依頼で任されている。

PTA からの参加は難しいと思うので、保護者の中で参加したい方が公募で入れるのであれば、飲み込まれてしまったといった意見がなくなると思う。

〔生涯学習部長〕

公募といった形が取れるかどうかについて、ここでお約束はできませんが、いただいた意見は大事な視点ですので、検討してまいります。

〔参加者 G〕

今日説明に来ているのは、教育委員会関係の方であるようだが、市長部局の職員が参加しない理由があるのか。

〔生涯学習部長〕

今回は、学校再編、特に4校の統合に関する必要性について保護者の方々に御理解をいただくために開催する説明会です。そのため、教育委員会職員が市を代表して出席しています。

これまで、市の全体的な「再配置構想」に関する懇談会は、様々な機会を通じて実施してきました。

〔参加者 G〕

統合後の学校がどのように活用されていくのか。

〔生涯学習部長〕

統合後の学校施設の利活用については、重要なことであると考えています。

今後、市として計画して、説明する機会を設けていくものと捉えています。いただいた御意見は、市長部局とも情報を共有していきます。

〔参加者 H〕

今後、松林小学校、羽村三中の施設がどのように使われていくのか懸念している。

何も使われないといったことは避けていただきたい。

【閉会】

〔生涯学習総務課長〕

活発なご議論ありがとうございました。

本日いただいた御質問、御意見は、市で整理し、回答が必要なものは、後日、市の公式ウェブサイト等で回答します。

アンケートは任意ではありますが、受付でお預かりします。

再配置構想（案）に関するパブリックコメントは、アンケート用紙又はリーフレットに記載の二次元コードからお願いします。

これをもって説明会を終了します。